

袋井商工会議所 F-Station 経営発達支援計画事業

平成28年度 事業評価委員会 開催実施報告

〔開催日時〕：平成28年6月27日(月)14:00～16:00

〔開催会場〕：袋井商工会議所2階第4研修室

〔委員〕：

所属	委員氏名
日本政策金融公庫 浜松支店 国民生活事業 事業統括 (会議当日の代理出席： 同 副事業統括)	吉良克信 (宇埜康平)
静岡県信用保証協会 常務理事	高林伸慈
鈴木宣二技術士事務所 所長	鈴木宣二
袋井市産業環境部 部長	鈴木 亨

〔会議内容〕：

1. 開 会

2. 議 事

(1) 委嘱状交付について

(2) 委員の自己紹介について

(3) 委員長を選出について

(4) 袋井商工会議所 経営発達支援事業の概要と基本的な考え方について

(5) 袋井商工会議所 経営発達支援事業 平成27年度事業の取組結果について

(6) 袋井商工会議所 経営発達支援事業 平成28年度事業計画(案)について

(7) 事業評価委員からのアドバイスについて

(8) その他意見交換

3. 閉 会

〔委員の主な発言内容〕

- ・小規模事業 900 社を対象にした景気動向調査の計画はありがたい。袋井市の定期的な経済調査は殆ど無いので、大変期待したい。
- ・静岡県が現在実施していない消費動向調査の新規計画は関心が高いのではないか。市内4中学校の中学2年生 800 人の調査結果は貴重である。商圈がつかめない状況の解消になればよいと考える。
- ・経営指導員の経営分析の実態を把握したい。財務分析と経営分析のバランスがどうなっているか？経営指導員の分析スキルはどうなっているか？経営指導員の能力の平準化を保つ工夫をしているか？
- ・事業報告書に記載がある目標値と H28 年度計画、実施事業との関係が不明確である。
- ・巡回訪問の内容はどうなっているか？事業所の訪問回転率はどのくらいか？
- ・金融機関等商工会議所と密接に関わる各支援団体同士の連携やそれぞれの支援力強化が求められていると思う。
- ・国からは創業支援、経営支援の要請が強く、成果が問われる時代になってきた。委員が所属する各事業分野でも経営発達支援計画と同様の計画策定が求められている。そういった現況では、団体や組織の連携がキーワードになってくる。
- ・事業承継については、他社に事業を買ってもらう(M&A)ことも考えねばいけなくなっている。市内事業所をみても、後継者として後を継ぐ人がいないところが多くなってきている。
- ・事業結果の ABC ランク付けの評価基準はどうなっているのか？
- ・平成 27 年度の事業実施結果を踏まえて、平成 28 年度は経営状況の把握と販路開拓支援の強化を是非お願いしたい。
- ・国で評価基準、評価項目の物差しを作ってもらい、我々が比較対象ができる評価手法が望ましい。例えば、ISO の評価では、評価マップがある。参考になるのではないかと思う。
- ・大学との連携も大事ではないか？袋井では、産学連携の組織があるが、企業の立場では敷居が高い印象がある。

<事業評価委員会 開催の様子>



事業評価委員会の会議風景



事業評価委員の皆さん